

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SQUARE		
○保護者評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年1月7日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の児童に合わせた支援内容の提供	保護者の方や関係機関の方々からの聞き取りや児童の様子を踏まえ、それぞれの児童に合わせた支援を考案し、実践している。	療育や子育て・教育など児童の支援に関わる多様な研修への参加や支援についての事業所内勉強会をおこなう中で、職員の知識・専門性をより深め、質の高い支援を提供していきたい。
2	安心して利用できる環境づくり	事業所での出来事や様子を保護者の方へお伝えしたり、幼稚園・こども園・保育所での様子などの共有を通して、児童の日々の状態を把握しながら丁寧な支援に努めている。	児童の実態・状態をより詳しく理解して支援を提供できるよう、保護者の方のみではなく、関係機関および事業所内スタッフとの情報共有を大切にしていきたい。
3	プログラムやイベント等の充実	個別や小集団プログラムや土曜日・祝日のイベント等、お子様が様々な経験を重ねながら過ごすことで、心身の自立や社会参加に繋げられるような活動内容を考案している。	今後も様々な児童や保護者の皆様のニーズを鑑みながら、多彩な活動内容を考案し実施していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園・幼稚園等との地域交流の場や地域に開けた支援の提供を実施できていない。	保育園や幼稚園・こども園との交流については、活動時間やそれぞれのカリキュラムの関係もあるため、実施するには工夫が必要だと感じる。	現実的な実施方法を考案して地域の園へ交流の提案をしたり、地域に開けたイベントの検討をし、多様な児童同士の交流の機会に繋げていきたい。
2	保護者の方への緊急マニュアルや避難訓練等に関する情報が伝わりにくい。	事故対応や災害対応等の緊急時対応マニュアルは整っており、訓練も行っているが、保護者の方への情報が伝わりにくい状況となっている。	おたよりやホームページ等を活用し、伝わりやすく発信していく必要がある。また、日頃のイベントの様子など、児童の皆様の笑顔をより詳しく発信していくよう、定期的にSNSを更新していく。
3	父母の会や保護者およびきょうだい交流・支援の実施の機会が少ない。	令和6年11月に保護者交流会を実施したり、家族参加型のイベントも定期的におこなっているが、保護者向け研修会やペアレントトレーニング、きょうだい交流・支援をメインにはおこなうことができていない。	保護者の方向けの研修会の実施や家族参加型イベント等の機会をつくり、交流や支援の場を提供していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 SQUARE

公表日 2025 年 3 月 15 日

利用児童数

17名

回収数

13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1	9	イベントで他事業所との交流をしているのでいいと思う。 今後は地域の幼稚園・保育園等や児童館等との交流の機会を設け、地域交流の機会を作っていきたいと考えております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		1	3	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	5	今年度、初めて保護者会を実施することができました。今後も定期的に保護者会や保護者・きょうだい参加型のイベントを通して、交流の場を作っていきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13					
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SQUARE		公表日		2025年3月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	○限られたスペースや空間を区切り、学習スペース・静養室・おもちゃスペース・運動スペースを分けて活動するよう試みている。 ○広く使いたい時には、動かせる設備（テーブル等）を動かす等の工夫をしている。	○学習スペースが狭い。活動によっては体を動かすには狭いときがある。 ○設備上取り払えない死角が発生する。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	安全や療育の充実を図るため、職員をできるだけ多めに配置するよう工夫している。	送迎等により、一時的にスタッフが少なくなる時がある。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	テーブルや棚にて各スペースの区切りを視覚的に伝える工夫をしている。	○細かい部分での視覚表示を増やしても良いと思う。 ○棚により空間を仕切っているため、学習・個別中の音の刺激は遮ることが難しい。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		○静養を希望する・または必要になる児童がいた場合や、着替えをする必要がある児童、静かな環境でお話する必要がある状況に備え、別室を準備している。	○すべての状況が複数名で重なった際に、部屋数が足りず対応が難しくなることがある。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ホームページにて公開している。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	内部および外部研修が行われている。			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて公開予定。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			計画の内容変更時の共有が浸透していないことがある。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		打ち合わせが細かく行えないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて情報共有をおこなっている。	場合により、保護者の方を通じた情報共有のみになってしまうことがある。もっと積極的に児童についての情報共有をおこなう必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		地域交流の場を設け、地域交流や地域移行支援に繋げていく必要がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	○家庭でできそうな対応などを共有させていただくことはある。	○研修等を通してペアレントトレーニングについての知識を深め、提供していく必要がある。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	昨年11月に保護者交流会を開催した。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		職員間の情報共有がスムーズではないことがある。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月おたよりや行事予定表を発行している。	SNSは滞り気味。活用していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	別紙にて同意を得たうえで、必要となる児童のみ記載している。	ご利用いただいているご家庭全員に説明し、緊急時等の対応についてご理解いただけるようにする。	